

東京湾海況情報 13 - 11

東京湾水質観測結果(平成13年9月分)

平成13年9月10日
千葉県水産研究センター 富津研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

資料：水質観測（9/3 内房海域：第2ふさみ丸，東京内湾：わかふさ）
内湾底びき網連絡協議会・東京都環境局・ふさなみ観測資料
一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

東京湾水質観測結果（平成13年9月分）

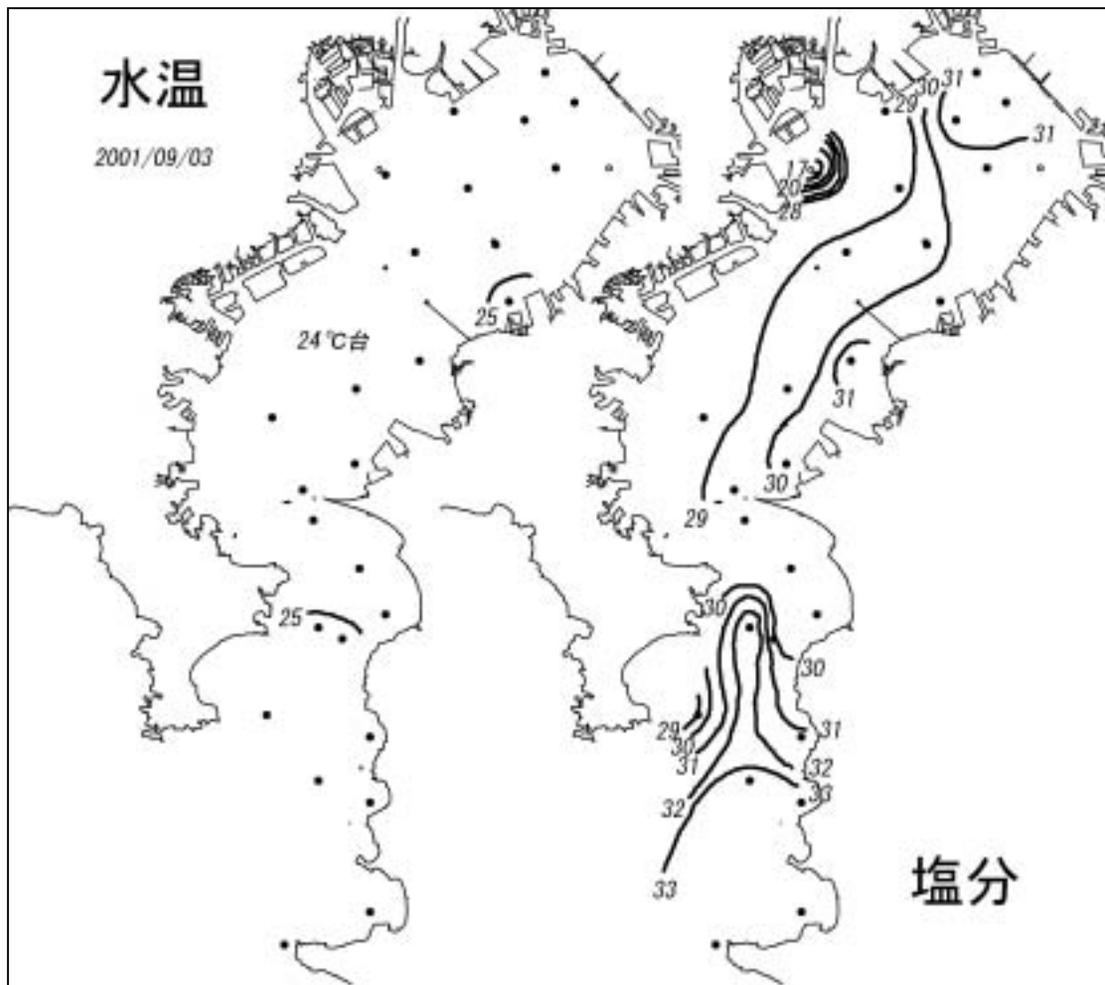


図1 表層の水温・塩分分布

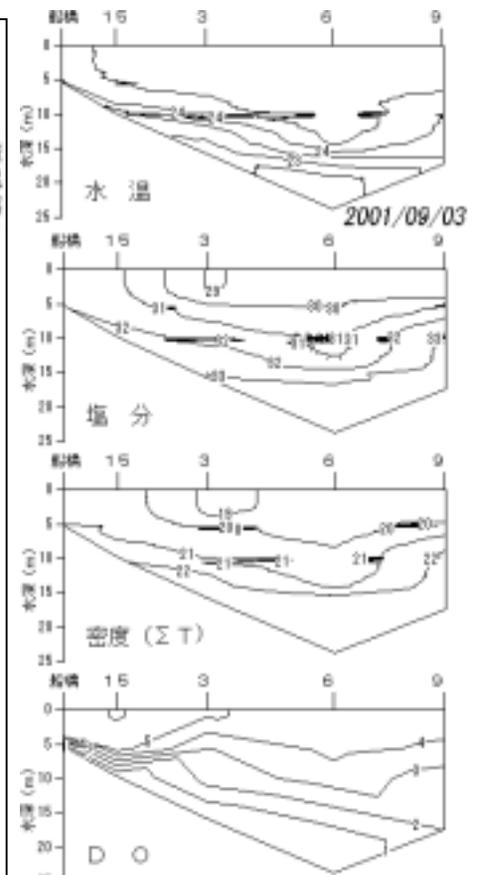


図2 内湾縦断面の鉛直分布

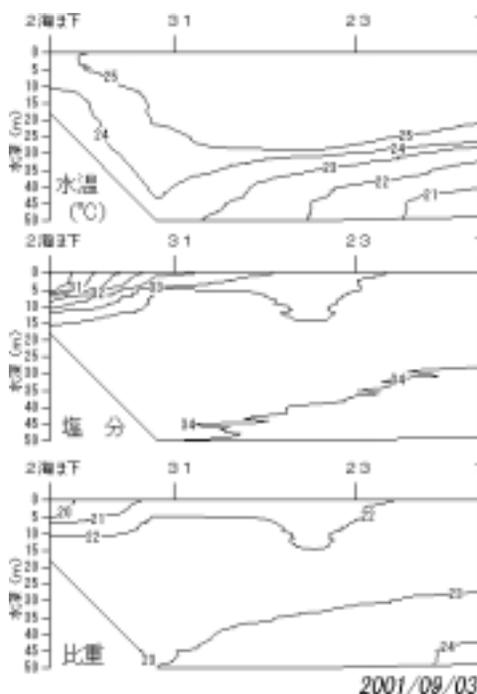


図3 内房海域の鉛直分布

水温・塩分の状況（図1～3，表1）

表層の水温は24～25（内湾は平年よりやや低め，内房は平年並み～やや高め），塩分は16～33（内湾は平年より高め，内房はやや低め）でした。内湾の塩分の低い水が内房海域に一部流れ出ているようです。

内湾縦断面の鉛直分布では水温22～24，塩分28～33でした。上下の水温差が少なくなってきました。

内房海域の鉛直分布では水温20～25，塩分30～34でした。

赤潮の状況（表1）

今回赤潮の発生海域はありませんでした。

比較的プランクトンの多い湾奥の主なプランクトンは珪藻のスケルトネマ（*Skeletonema* sp.）と渦鞭毛藻類のギロディニウム スパイラレ（*Gyrodinium spirale*）でした。

貧酸素水塊の状況 (図2, 4, 表1)

底層の溶存酸素量分布をみると、貧酸素水塊は依然として内湾の広い範囲に広がっています。

鉛直分布をみても水深12~13m以深で貧酸素水塊が分布しています。

風によって貧酸素水塊は移動し、青潮の発生などにつながります。今後の動向に注意してください。

水産研究センターでは2.5 ml/L (酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としてしています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。



図4 底層の溶存酸素量分布 (ml/L)
(観測日, 観測機関は図中に表示)



表層の栄養塩類 (図5~6, 表1)

溶存無機態窒素(DIN)は内湾で36~1,306 μg/L (平年より少なめ), 内湾で16~302 μg/L (平年より多め), リン酸態リン(PO4-P)は内湾で17~109 μg/L (平年よりやや多め),

内湾で3~38 μg/L (平年よりやや多め)でした。内湾のリン酸態リンは上下の混合により上昇が期待されますが, 溶存無機態窒素は底層でも少なめですので, 急激な回復は見込まれません。河川水の流入などによる補給に期待してください。

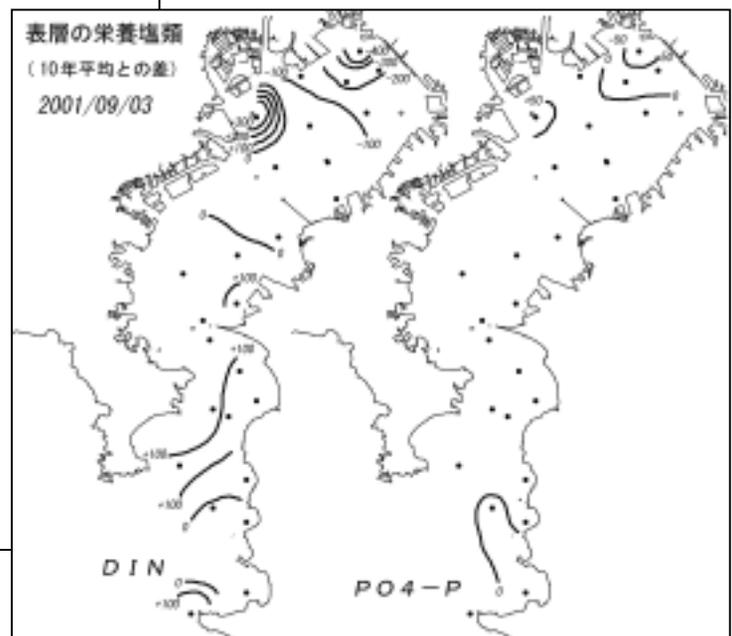
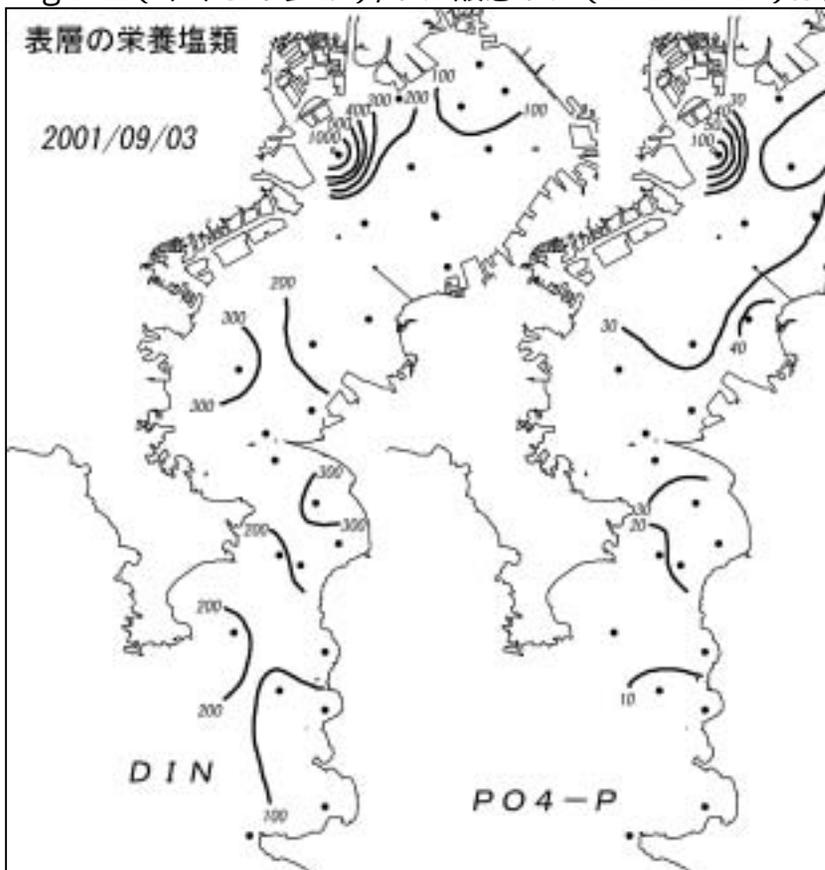


図5 表層の栄養塩類分布と過去10年平均との差

黒潮の動き (図7~8)

黒潮は伊豆諸島付近を北上しています。湾内の潮位偏差も8月末頃から上昇し、内房海域でも影響が出ているようです。急潮などに注意してください。

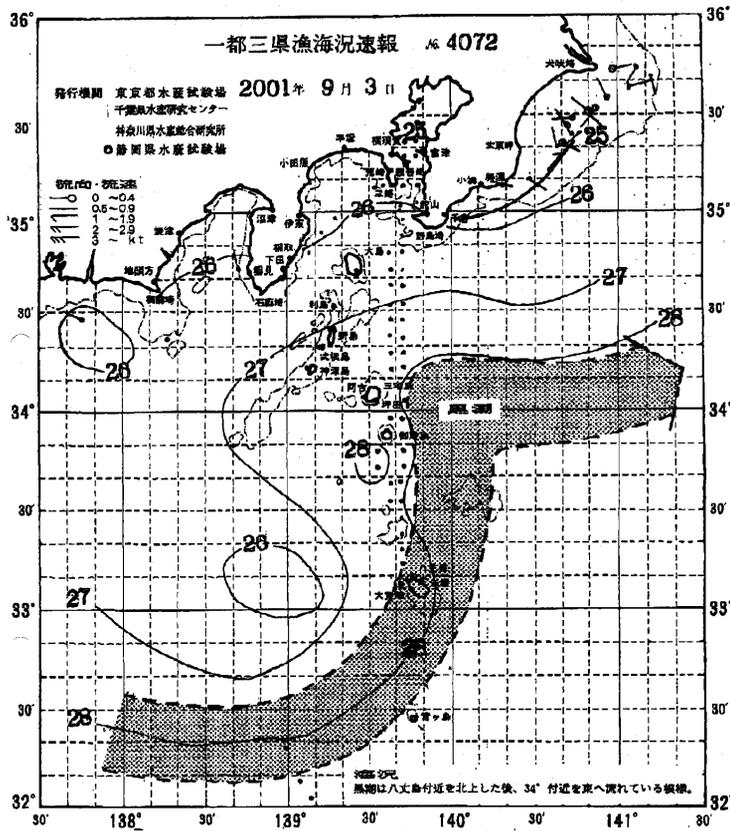


図7 黒潮の動き
(一都三県漁海況速報, 9月3日分)

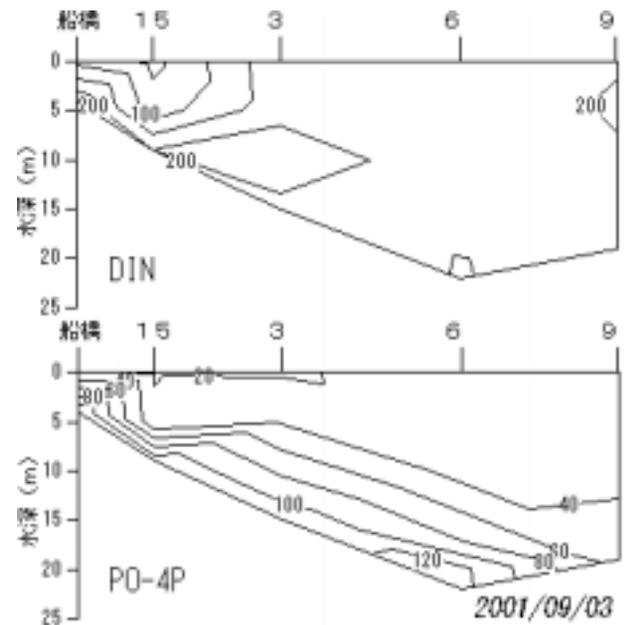


図6 内湾の栄養塩類の鉛直分布

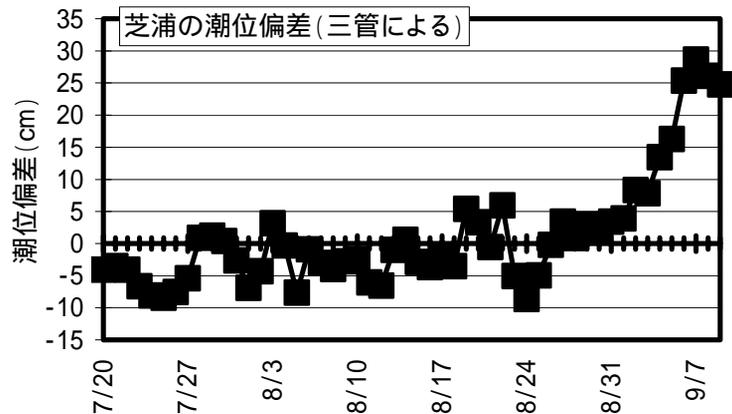


図8 内湾の潮位偏差

観測日記

- 湾奥の千葉周辺ではミズクラゲが大量に分布していました。かたまっているところは白っぽくみえるので、遠くからでもすぐわかる状態でした。

東京湾情報ボックス

- 8月31日~9月6日に船橋航路~千葉港付近で局部的な青潮が発生した模様です。

表1. 水質調査結果 (表層)

調査年月日:平成13年9月3日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	DO(底層:ml/L)	溶存無機態窒素 (μg/l)	リン酸態リン (μg/l)	クロロフィルa量 (μg/l)
内湾海域	船橋	24.4 (25.2)	31.20 (26.98)	8.2 (8.2)	0.6 (2.2)	87 (534)	20 (71)	分析機器故障のため欠測 (年度版発行時には掲載予定)
	St. 15	24.6 (25.8)	31.14 (26.96)	8.3 (8.5)	0.0 (1.9)	36 (300)	19 (26)	
	st. 3	24.9 (25.9)	28.89 (27.08)	8.3 (8.6)	0.0 (1.1)	187 (252)	18 (14)	
	St. 6	24.9 (25.5)	29.73 (27.93)	8.3 (8.5)	0.0 (1.8)	159 (235)	25 (15)	
	St. 9	24.8 (25.1)	29.93 (29.86)	8.2 (8.4)	2.1 (2.7)	196 (165)	25 (17)	
	盤洲Cブイ	21 (25.6)	30.89 (29.11)	8.1 (8.4)	1.5 (2.6)	140 (215)	35 (22)	
	St. 8	24.5 (24.9)	31.33 (30.20)	8.0 (8.3)	1.6 (1.9)	172 (227)	49 (31)	
	盤洲Aブイ	3.8 (25.2)	30.21 (31.07)	8.2 (8.3)	2.3 (3.8)	240 (139)	31 (15)	
内房海域	第2海ほ下	24.8 (25.0)	29.99 (30.65)	8.2 (8.3)		260 (183)	38 (21)	
	st. 31	25.2 (24.9)	32.26 (31.25)	8.3 (8.4)		196 (126)	19 (13)	
	st. 23	25.7 (25.1)	33.26 (33.53)	8.2 (8.3)		38 (43)	4 (4)	
	st. 1	25.9 (25.9)	33.81 (33.55)	8.2 (8.3)		136 (28)	8 (3)	
	St. 10 (下洲沖)	24.7 (24.9)	29.96 (31.11)	8.3 (8.3)		302 (155)	28 (15)	
	St. 12 (湊沖)	24.8 (25.0)	29.64 (31.38)	8.3 (8.3)		297 (110)	26 (12)	
	St. 22 (保田沖)	25.2 (24.9)	31.66 (33.20)	8.2 (8.3)		138 (43)	14 (5)	
	St. 24 (富浦沖)	25.8 (24.9)	33.73 (33.70)	8.2 (8.3)		22 (39)	4 (3)	
St. 26 (館山湾内)	25.9 (25.0)	33.82 (33.78)	8.2 (8.3)		16 (46)	3 (4)		

():過去10年間の平均値(ただし富津ベタは昨年1年分)
透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。